【GIGA×指導の工夫・改善】端末で児童の考えをモニタリング・支援

く考察>

クラウド上に共有されたシートを教師がモニタリングをし、適切な支援を行うことができるようにした。その際に、教師用の端末を持ち歩きながら、 机間指導を行った。

教師が支援する際には、児童が自分で立てた 目標が達成できているかどうかを確認した。学習 の進度に遅れが見られる場合は、今の学び方の どのようなところに問題があるのか、どのように変え たら目標が達成することができるかを考えるよう 児童に促した。

思考の過程を丁寧に見取り、教科の見方・考え方が働いているかに注目し、指導や支援を行った。教科の見方・考え方が働いていなければ、教科の本質に迫る学習とならないため、教師の確実な見取りによる丁寧な支援や指導を行うことを心掛けた。

協働的な学びの充実に向けて、よい児童の考えを見取ることができるように、指導を行った。クラス全体の学びが深まる考えや他の人にはない少数意見などを教師が意図的に取り上げ、紹介することを通して、児童にも参照させる機会を繰り返し設定した。







